

春を背負って (2014)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 116分

初公開日 2014/06/14

公開情報 東宝

映倫 G

【キャッチコピー】

標高3000m——悠久の大自然に描かれる、
“家族”の物語。

【解説】

日本を代表する名カメラマン、木村大作が「剣岳 点の記」に続いて撮り上げた監督第2作。標高3000メートル級の立山連峰を舞台に、父の急死をきっかけに山小屋を継ぐ決心をした金融マンの青年が、不慣れな山での生活に奮闘する中で、改めて父や家族と向き合う姿を描く。主演は「ノルウェイの森」の松山ケンイチ、共演に蒼井優、豊川悦司、檀ふみ、小林薫。原作は笛木稜平の同名小説。実際に立山連峰で延べ60日に及ぶ過酷な山岳口ケを敢行し、臨場感あふれる演技と美しく雄大な大自然の風景をカメラに収めた。

立山連峰で山小屋“董小屋”を営む厳格な父・長嶺勇夫に育てられた享は、社会人になってからはそんな父から距離を置き、東京でトレーダーとして忙しい毎日を送っていた。そんなある日、父の突然の訃報が届く。帰郷した享を母の董や勇夫の山仲間たちが出迎える。その中に一人の見慣れない女性、高澤愛がいた。彼女は心に深い傷を負い、山で遭難しかけたところを勇夫に助けられ、以来、勇夫と董のもとで働いていた。勇夫がいなくなった今、誰もが董小屋の存続を諦めかけていたとき、享が都会生活を捨てて小屋を引き継ぐと宣言する。こうして愛とともに董小屋の経営に乗り出した享だったが、案の定、過酷な山での生活に悪戦苦闘の日々が続く。そんな彼の前に勇夫の友人だったという頼もしい山男のゴロさんこと多田悟郎が現われ、享を力強く支えていく。

【クレジット】

監督	木村大作	
製作	石原隆	
	市川南	
プロデューサー	松崎薫	
	上田太地	
原作	笛木稜平	『春を背負って』 (文藝春秋刊)
脚本	木村大作	
	瀧本智行	
	宮村敏正	
撮影	木村大作	
美術	佐原敦史	
編集	板垣恵一	
音楽	池辺晋一郎	
主題歌	山崎まさよし	『心の手紙』

制作担当	金澤清美
録音	石寺健一
照明	鈴木秀幸
監督補	宮村敏正
山岳監修	多賀谷治
出演	松山ケンイチ 蒼井優 檀ふみ 新井浩文 吉田栄作 嶋田久作 Kyusaku Shimada でんでん モロ師岡 Moro Moroka 螢雪次朗 蟹江一平 仁科貴 大石吾朗 角替和枝 仲村トオル KIKI KIKI 浜田学 加藤桃子 駿河太郎 多賀谷治 本郷颯 安藤サクラ 池松壮亮 Sosuke Ikematsu 市毛良枝 井川比佐志 石橋蓮司 小林薰 豊川悦司 Etsushi Toyokawa
	長嶺享 高澤愛 長嶺董 中川聰史 工藤肇 朝倉隆史 中川ユリ 須永幸一 高野かね 文治 野沢久雄 長嶺勇夫 多田悟郎 (ゴロさん)